



# 長崎がんばらば国体 2014

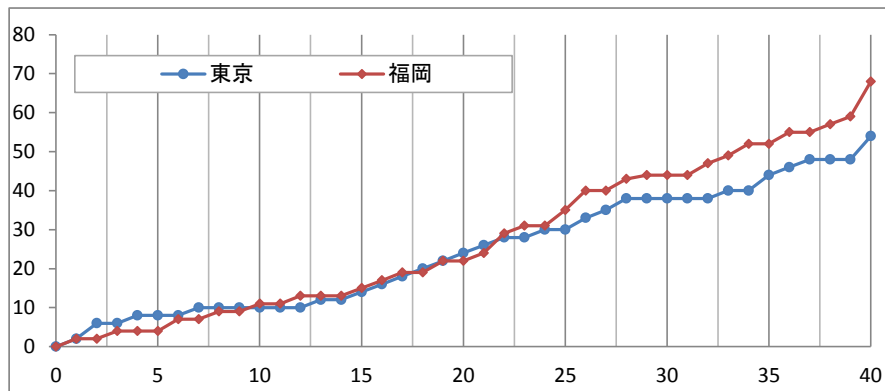
第69回国民体育大会 平成26年10月12日(日)～10月22日(水)

君の夢 はばたけ今 ながさきから

第69回国民体育大会  
バスケットボール競技  
**競技記録**

成年男子決勝	東京 54	<table border="0"> <tr><td>10</td><td>—</td><td>11</td></tr> <tr><td>14</td><td>—</td><td>11</td></tr> <tr><td>14</td><td>—</td><td>22</td></tr> <tr><td>16</td><td>—</td><td>24</td></tr> <tr><td>—</td><td></td><td></td></tr> </table>	10	—	11	14	—	11	14	—	22	16	—	24	—			68 福岡
10	—	11																
14	—	11																
14	—	22																
16	—	24																
—																		
主審 山崎 仁士 (大阪)	●		○															
第1副審 渡邊 亮 (福島)																		
第2副審 宇地原 尚彦 (沖縄)																		

No. 21G-1 日時: 2014年10月21日(火) 10:00 会場: 三菱重工総合体育館



## 東京

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F	R	As
4	* 山田 純也	4	0	2	0	1	2	0
5	福田 侑介	3	1	0	0	1	1	2
6	* 鈴木 伸之 (C)	0	0	0	0	2	0	2
7	岩下 達郎	2	0	1	0	1	11	0
8	福田 大佑	14	0	7	0	3	5	2
9	* 小林 純也	10	0	4	2	4	1	1
10	* 小松 昌弘	7	1	1	2	2	3	1
11	森川 純平	4	0	2	0	0	2	1
12	立花 大介	0	0	0	0	1	1	1
13	高田 歳也	0	0	0	0	0	1	0
14	* 吉留 将平	10	0	5	0	2	5	0
15	加藤 耕太郎	0	0	0	0	0	0	0
コーチ	奥山 興祐							
合計		54	2	22	4	17	32	10

## 福岡

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F	R	As
4	古野 拓巳	8	1	1	3	2	3	3
5	* 田中 喜陽	14	0	6	2	0	5	0
6	* 織田 秀司	4	0	2	0	0	4	3
7	* 吉満 俊孝 (C)	0	0	0	0	3	0	0
8	中深迫 諒太	2	0	0	2	1	1	0
9	赤星 雄平	9	1	3	0	3	3	1
10	* 松谷 直人	0	0	0	0	3	1	0
11	三友 康平	15	3	2	2	0	2	1
12	柚木 毅	-	-	-	-	-	-	-
13	村瀬 敦希	3	1	0	0	3	3	0
14	* 毛利 孝志	13	3	1	2	0	9	3
15	熊谷 駿	-	-	-	-	-	-	-
コーチ	山口 健太郎							
合計		68	9	15	11	15	31	11

\*…スターター (C)…キャプテン 3P…3点シュート 2P…2点シュート FT…フリースロー F…ファウル R…リバウンド As…アシスト

## 戦評

決勝戦。初戦は苦しんだものの着実に調子を上げてきた前回王者東京と、準決勝で最後の最後まで苦しみながら堅い守りと#11を中心としたゲームメイクで勝ち進んできた福岡の対戦。第1Qは両者マンツーマンディフェンスでスタート。東京は#7、#10のインサイドからの攻撃を中心にゲームを組み立てる。一方福岡は、#14の内外からの攻撃や、粘り強いディフェンスと速攻で対抗する。両者一歩も引かず、第1Qを10対11で終える。第2Q、東京はミドルシュートを中心に、福岡は速攻を中心に攻撃をしかける。両チーム主導権を奪い合う戦いが続くが、東京#4の2連続ゴールなどで東京が24対22と2点のリードを奪って第2Q終了。

第3Qは残り5分からゲームが動く。福岡#4の1対1からのアシスト、#11のスリーポイント、#5の1対1からの得点により、東京を逆転する。東京はタイムアウトをとり、流れを引き寄せようとするが、またも福岡の粘り強いインサイド攻撃と#14のスリーポイントにより、点差を広げられる。東京はメンバーを交代し、#5のスリーポイントなどで一端流れを止めたかに思えたが、福岡も粘り強いディフェンスとリバウンドにより、38対44と福岡リードで第3Qを終了。両者円陣を組み迎えた第4Q、一進一退の攻防が続く。残り6分を切ったところで、福岡#4のスリーポイントが決まり、福岡が12点と大きくリードする。東京はタイムアウトをとり、#8、#14の得点で踏みとどまるが、またしても福岡#14のスリーポイントで点差を縮めることができない。残り1分30秒、福岡が#5のハイポストからの#14へのアシストにより11点差をつけ、東京が3回目のタイムアウトをとる。東京もファウルゲームに持ち込むが、福岡は#11のスリーポイントでさらに東京を突き離す。東京も最後の最後まで#8が攻め込むも一歩及ばず、68対54で福岡の勝利。

今大会を通じて、堅守速攻と落ち着いたゲーム運びを展開し、それを貫いた福岡県の優勝で幕を閉じた。

記載者 高田 裕己 (所属) 長崎県バスケットボール協会



# 長崎がんばらんば国体 2014

第69回国民体育大会 平成26年10月12日(日)～10月22日(水)

君の夢 はばたけ今 ながさきから

第69回国民体育大会  
バスケットボール競技

## 競技記録

成年女子決勝

秋田 69 ○ 59 ● 山梨

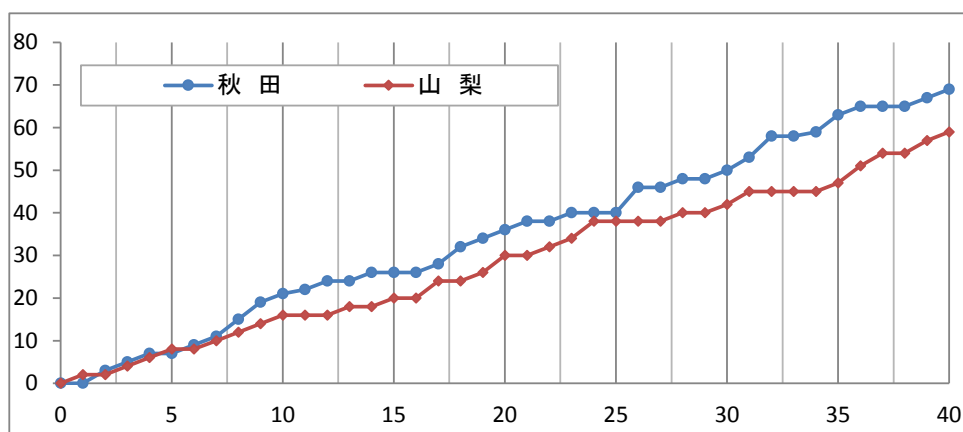
主 審 岩田 千奈美 (東京)

第1副審 窪田 淑子 (佐賀)

第2副審 御手洗 亮 (大分)

21	—	16
15	—	14
14	—	12
19	—	17
—		

No. 21M2 日時: 2014年10月21日(火) 12:15 会場: 大村市体育文化センター



### 秋田

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F	R	As
4	* 金 吏子 (C)	4	0	1	2	0	3	4
5	橋田 幸華	-	-	-	-	-	-	-
6	鈴木 友佳子	-	-	-	-	-	-	-
7	小松 恵	18	0	7	4	0	11	0
8	北山 愛梨	-	-	-	-	-	-	-
9	永野 友香里	0	0	0	0	0	0	0
10	* 加藤 菜奈美	17	1	5	4	1	8	1
11	* 佐々木 知香	2	0	1	0	2	0	0
12	* 伊藤 美和子	22	1	8	3	0	13	1
13	* 成田 麻沙美	6	0	3	0	3	4	0
14	大山 未由	0	0	0	0	1	1	1
15	加藤 三津子	-	-	-	-	-	-	-
コーチ	半田 祐毅					0		
合計		69	2	25	13	7	40	7

### 山梨

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F	R	As
10	* 野田 桃香	25	2	9	1	1	2	2
4	* 菅原 絵梨奈	10	0	4	2	2	13	1
6	* 木工 理恵	16	0	8	0	2	1	3
15	* 高木 佑佳	2	0	1	0	1	4	1
7	大里 悠碧	0	0	0	0	1	0	0
14	* 木村 有沙	4	0	2	0	4	5	0
9	安田 侑杜己	-	-	-	-	-	-	-
11	伊藤 唯 (C)	-	-	-	-	-	-	-
8	宮川 俊帆	0	0	0	0	1	2	0
15	高木 伽奈	2	0	1	0	4	0	1
13	清水 詠美子	-	-	-	-	-	-	-
12	徳原 ちひろ	-	-	-	-	-	-	-
コーチ	梅崎 英毅					0		
合計		59	2	25	3	16	27	8

\*…スターター (C)…キャプテン 3P…3点シュート 2P…2点シュート FT…フリースロー F…ファウル R…リバウンド As…アシスト

### 戦 評

成年女子決勝戦、秋田県対山梨県。互いにハーフマンツーマンでスタート。互角の攻防が続く中、山梨は#15のアグレッシブなプレーでチャンスを作り、#14が落ち着いて2Pを決める。一方、秋田は#12の3連続2Pなどで5点リードし、1Q終了。2Q序盤、山梨はオフェンスのリズムをつかめず、苦しい時間帯が続く。秋田は#7のインサイドプレーなどで引き離そうとするが、山梨#6が3連続得点するなど食い下がる。点差が8点となったところで山梨タイムアウト。秋田の流れを食い止め、6点差で前半を終了した。3Q中盤、山梨の猛追が続く。#6のスティールから#10が確実に2Pを決め、2点差。しかしその直後、秋田#12の3P、#7のバスケットカウントで山梨の流れを断ち切る。秋田が8点リードのまま、最終Qへ。開始から秋田は#10の3P、#7のバスケットカウントなどで13点差。山梨は#6、#10が果敢に攻め切り崩し粘るが、秋田の猛攻を食い止めることができない。終盤、追い上げる山梨であったが、秋田がこれをかわしタイムアップ。総合力で勝る秋田が優勝を飾った。決勝戦にふさわしい好ゲームで、両チームの澁刺とした勇姿は観客や長崎県民に勇気と感動を与えてくれた。

記者 林 英晴 (所属) 長崎県バスケットボール協会



# 長崎がんばらば国体 2014

第69回国民体育大会 平成26年10月12日(日)～10月22日(水)

君の夢 はばたけ今 ながさきから

第69回国民体育大会  
バスケットボール競技

## 競技記録

少年男子準決勝

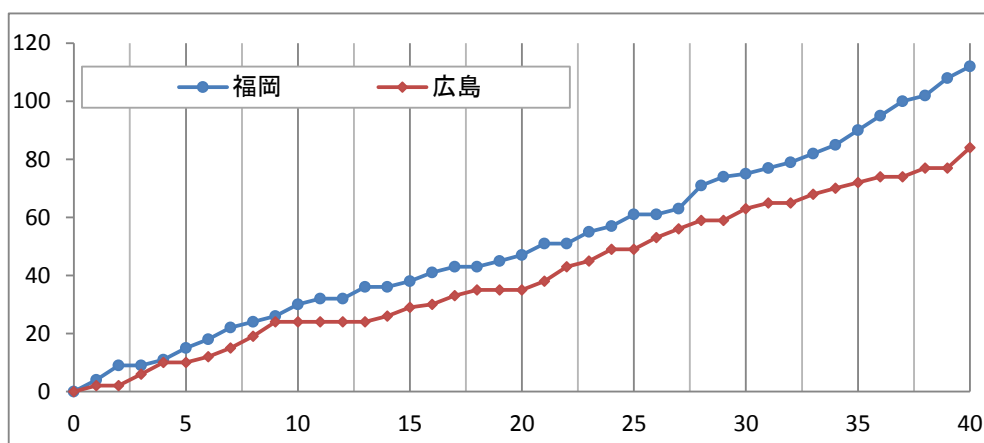
福岡 112 ○ 84 ● 広島

主審 小澤 勤 (山梨)

第1副審 有澤 重行 (山口)

第2副審 松本 究 (佐賀)

No. 21M-1 日時: 2014年10月21日(火) 10:00 会場: 長崎県立総合体育館



### 福岡

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F	R	As
4	* 濱田 健太 (C)	6	0	3	0	1	3	1
5	秋山 皓太	4	0	2	0	2	2	2
6	* 井手 優希	6	0	3	0	4	0	1
7	鳥羽 陽介	13	1	4	2	3	5	4
8	武藤 海斗	6	2	0	0	0	0	2
9	* 津山 尚大	17	3	3	2	2	2	3
10	牧 隼利	17	2	5	1	2	6	0
11	* 増田 啓介	25	0	11	3	2	12	4
12	河野 佑太	2	0	1	0	3	3	0
13	張 効広	7	0	3	1	2	3	0
14	* 野口 夏来	9	0	3	3	1	6	2
コーチ	井手口 孝					0		
合計		112	8	38	12	22	42	19

### 広島

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F	R	As
4	* 佐々井 雄大 (C)	17	0	6	5	2	3	2
5	* 山崎 翔梧	23	4	4	3	1	0	0
6	* 小栗 尚幸	6	0	3	0	3	4	5
7	豊田 湧一朗	0	0	0	0	0	0	1
8	* 吉崎 綾汰	14	1	3	5	3	7	0
9	茂刈 皇希	5	1	1	0	1	1	0
10	檜作 昌慶	2	0	0	2	0	1	0
11	松浦 慎哉	2	0	1	0	1	1	0
12	* 伊森 響一郎	13	1	3	4	2	3	2
13	江尻 駿也	0	0	0	0	0	0	0
14	河野 拓海	2	0	1	0	1	0	0
コーチ	藤井 貴康					0		
合計		84	7	22	19	14	20	10

\*…スターター (C)…キャプテン 3P…3点シュート 2P…2点シュート FT…フリースロー F…ファウル R…リバウンド As…アシスト

### 戦評

準決勝、福岡県対広島県。1Q、両チームマンツーマンでスタート。福岡県は、#14リング下のシュートや#11のドライブインで得点を重ねる。一方、広島県は#4のジャンプシュートや#8のドライブインで得点し、30-24で福岡県リード。2Q、福岡県はディフェンスを厳しくし、徐々にリバウンドを支配する。残り8分、福岡県#13のリング下の得点で34-24となったところで広島県タイムアウト。その後、広島県#5、#8で得点するが点差は縮まらず47-35福岡県リードで前半を終了。3Q、福岡県は、インサイドとアウトサイドを効果的に使い、#11の得点や#9の連続3Pで得点を重ねる。一方広島県も、#4のスチールからのレイアップシュート、#5の果敢なドライブインや3Pで応戦するが、75-63で福岡県のリードは変わらない。4Q、一進一退の攻防が続くが、残り5分、福岡県#7の3Pが決まったところで広島県がタイムアウト。その後、オールコートマンツーマンで仕掛けるが、連戦の疲れからか、思うようにシュートが決まらない。その間、福岡県は#10、#8の3Pで得点を重ね、112-84で福岡県が決勝進出を果たした。高さに勝る福岡県に対し、最後まで果敢に挑んだ広島県の戦いぶりは、見る者に感動を与えた。

記事者 松瀬 正人 (所属) 長崎県バスケットボール協会



# 長崎がんばらば国体 2014

第69回国民体育大会 平成26年10月12日(日)～10月22日(水)

君の夢 はばたけ今 ながさきから

第69回国民体育大会  
バスケットボール競技

## 競技記録

少年男子準決勝

京都 90 ● 95 茨城 ○

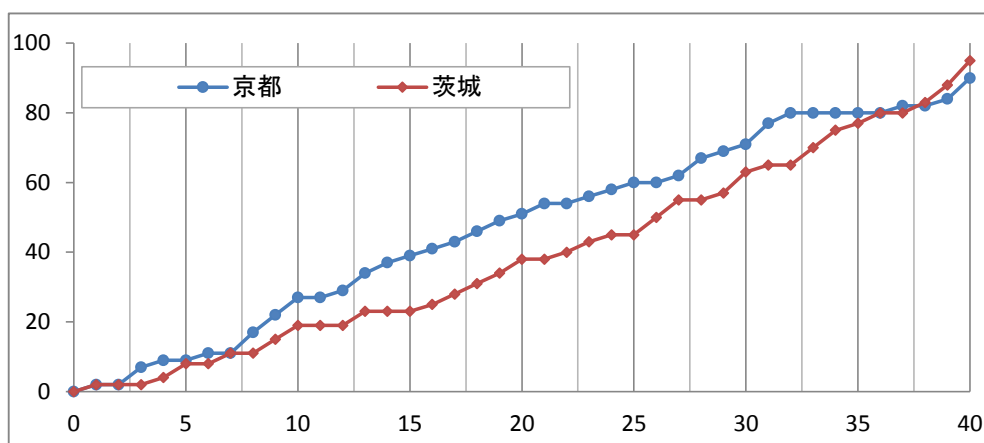
主審 吉橋 雅一 (愛知)

第1副審 黒岡 和哲 (大阪)

第2副審 加藤 昌樹 (愛知)

27	—	19
24	—	19
20	—	25
19	—	32
—	—	—

No. 21M-2 日時: 2014年10月21日(火) 11:55 会場: 長崎県立総合体育館



### 京都

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F	R	As
4	* 村井 大陸 (C)	6	0	1	4	3	2	3
5	* 菅 祐史	5	1	1	0	1	3	0
6	富田 頼	20	0	9	2	1	8	2
7	澤田 絢以	2	0	1	0	0	2	0
8	* 岡田 卓也	2	0	1	0	1	3	0
9	高田 颯斗	10	2	2	0	1	1	9
10	* 山口 直紀	6	0	3	0	1	3	1
11	寺嶋 良	21	5	3	0	0	6	2
12	荒川 颯	0	0	0	0	1	2	0
13	* 田邊 陸也	18	0	7	4	1	9	3
14	鈴木 悠介	0	0	0	0	2	2	0
コーチ	吉田 裕司					0		
合計		90	8	28	10	12	41	20

### 茨城

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F	R	As
4	* 本村 亮輔 (C)	27	3	7	4	3	3	3
5	* 青木 裕哉	8	2	1	0	2	0	2
6	軍司 泰人	0	0	0	0	0	2	2
7	野口 勇樹	2	0	1	0	3	0	2
8	松脇 圭志	17	3	4	0	4	2	1
9	* 山崎 純	28	6	5	0	3	2	6
10	杉本 天昇	0	0	0	0	0	2	0
11	黒田 将弘	—	—	—	—	—	—	—
12	菅原 暉	—	—	—	—	—	—	—
13	* 松本 紘希	5	0	2	1	0	7	0
14	* 平岩 玄	8	0	3	2	3	9	0
コーチ	佐藤 豊文					0		
合計		95	14	23	7	18	27	16

\*…スターター (C)…キャプテン 3P…3点シュート 2P…2点シュート FT…フリースロー F…ファウル R…リバウンド As…アシスト

### 戦評

準決勝、京都府対茨城県。両チームマンツーマンでスタート。両チーム、アウトサイド、ドライブインで入れ合い、残り3分11-11の同点。2分を切って京都#6のゴール下や#11の連続3Pシュート、茨城は#8の連続ゴール下で加点し、27-19の京都8点リードで1Q終了。2Qに入り、京都は#9のアウトサイド、3Pシュートで得点する。茨城はタイムアウトを取り、フルコートゾーンプレスからゾーンディフェンスを用い流れを変えようと頑張りをみせるが、京都に加点され点差は縮まらず、京都51-38の13点リードで前半終了。3Q前半は一進一退の攻防が続いたが、残り4分茨城#9のスチールからのレイアップを皮切りに、#4のドライブインや3Pシュートで、残り3分60-55の5点差に追い上げる。さらに、フルコートゾーンプレスを仕掛けて逆転を狙うが、京都はタイムアウトを取り立て直しをはかり、71-63京都8点リードで終了。4Qに入り、京都は出だし#11、#9が連続3Pを決める。対する茨城はフルコートゾーンプレスで反撃を試み、#5、#9の3P、#4のターンシュートで残り5分80-77の3点差に迫る。残り3分、茨城#8の3Pシュートが決まり、ついに80-80の同点。残り1分半、茨城#4の2Pや#9の3Pシュート、京都は#13や#6のゴール下シュートを入れ合い、90-90の同点。残り30秒を切って茨城#8の3P、#7のスチールからのレイアップを決め、95-90で茨城が勝利した。京都の冷静なプレイと茨城のアグレッシブなプレイが対照的な、見所ある好試合だった。

記事者 上野 陽一 (所属) 長崎県バスケットボール協会



# 長崎がんばらんば国体 2014

第69回国民体育大会 平成26年10月12日(日)～10月22日(水)

君の夢 はばたけ今 ながさきから

第69回国民体育大会  
バスケットボール競技

## 競技記録

少年女子決勝

愛知 73 ○ 57 ● 千葉

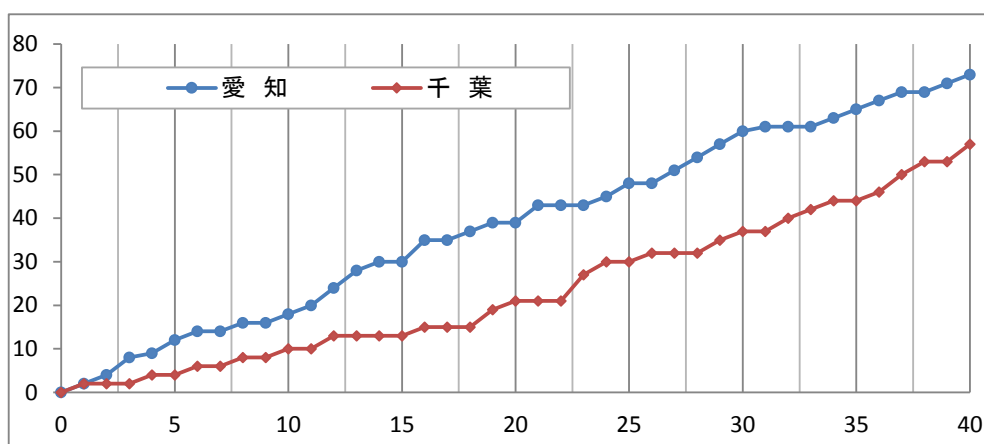
主 審 高橋 尚裕 (高知)

第1副審 緒方 崇 (東京)

第2副審 中江 洋美 (石川)

18	—	10
21	—	11
21	—	16
13	—	20
—	—	—

No. 21M1 日時: 2014年10月21日(火) 10:00 会場: 大村市体育文化センター



### 愛知

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F	R	As
4	* 高辻 真子 (C)	20	4	4	0	0	3	6
5	* 若原 愛美	12	2	3	0	2	4	3
6	* 上田 祐季	12	0	6	0	2	1	1
7	* 加藤 優希	15	0	7	1	1	3	3
8	脇 梨奈乃	0	0	0	0	1	1	0
9	遠藤 桐	3	1	0	0	0	0	0
10	米長 華菜	—	—	—	—	—	—	—
11	* 馬瓜 ステファニー	11	0	5	1	3	2	0
12	アイメレク モニーク	—	—	—	—	—	—	—
13	渡辺 実鈴	—	—	—	—	—	—	—
14	粟津 雪乃	—	—	—	—	—	—	—
15	矢田 真悠	—	—	—	—	—	—	—
コーチ	井上 真一	—	—	—	—	0	—	—
合計		73	7	25	2	9	14	13

### 千葉

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F	R	As
5	* 赤穂 さくら	12	0	4	4	2	9	2
4	* 渡部 友里奈 (C)	7	1	2	0	0	2	0
9	* 山本 由真	11	1	4	0	2	6	1
13	* 中村 美羽	6	0	3	0	3	3	0
6	稲垣 世羅	—	—	—	—	—	—	—
7	神崎 めぐみ	—	—	—	—	—	—	—
10	小野尾 梨紗	0	0	0	0	0	2	1
11	* 山本 加奈子	5	1	1	0	4	3	2
8	森 幾美	—	—	—	—	—	—	—
12	荻野 あかり	5	1	1	0	0	1	0
14	赤穂 ひまわり	11	1	4	0	1	6	2
15	城内 はるか	—	—	—	—	—	—	—
コーチ	鈴木 親光	—	—	—	—	0	—	—
合計		57	5	19	4	12	32	8

\*…スターター (C)…キャプテン 3P…3点シュート 2P…2点シュート FT…フリースロー F…ファウル R…リバウンド As…アシスト

### 戦評

決勝戦、どちらも負けられない一戦。両チームともマンツーマンでスタート。愛知は#4の2Pシュートを皮切りに、#6が連続2Pで続く。千葉はインサイドにボールを集めるが、厳しいディフェンスに波に乗れない時間帯が続く。双方ともゴール下のルーズボール争いに果敢に飛び込むプレイに会場が沸く。18-10愛知リードで1Q終了。2Q、愛知#11のフックシュートから#6、#7のドライブインが連続で決まる。千葉は#11の3Pで応戦するが、その後、愛知の厳しいディフェンスの前に3分間ノーゴールが続く。39-21愛知リードで折り返す。3Q、千葉は開始から2分間ノーゴールが続くが、#5のドライブからパスが小気味よく回り出し#12、#4の3Pで追いすがる。しかし、愛知は#4の3Pブザービーターなどで追撃を許さず、60-37で愛知リードは続く。4Q、両チームとも開始から厳しいディフェンスの中、得点の取り合いとなる。千葉は終盤、プレスディフェンスに変え追い上げを図るが、愛知は落ち着いた試合運びで73-57で勝利した。最後まで勝利を信じプレイした、千葉の健闘を称えたい。

記者 桑原 盛雄 (所属) 長崎県バスケットボール協会